

## 第2回 全国支部長会が 開かれました



関西支部長

駕 田 毅

東京工芸大学同窓会、第2回全国支部長会が9月5日(土)、大阪リーガロイヤルホテルにて開催されました。水都大阪2009の催しが、8月22日～10月22日まで行われている最中でした。支部長会は田沼会長のもと、川名晴美理事長の司会で、出席者の紹介、支部長委嘱状の伝達が行われた後、支部長会議となり、各支部活発な意見が交換され、同窓会の活性化が推進されるものと、確信致しました。懇親会では、来賓の小野茂夫理事長、若尾真一郎学長に、ご挨拶をいただき、内藤芸術学部長の乾杯の音頭で大変盛り上がった懇親会となり、あっという間に予定の時間が過ぎてしまい、細江英公同窓会副会長の中締めでお開きとなりました。翌日は希望者のみで、天満八軒家浜船着場より、水都大阪を水上から眺める大阪城、中の島めぐりの、アクアライナークルーズに乗船しました。とても天気が良く快適なクルーズを楽しみました。最後になりましたが多くの関西支部の関係者の方々に最後までお世話いただきありがとうございました。感謝申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



東京工芸大学同窓会全国支部長会 平成21年9月5日 於 リーガロイヤルホテル

## 第2回東京工芸大学同窓会全国支部長会

平成21年9月5日 於 リーガロイヤルホテル



支部長会では各支部活発な意見が交換され、各支部の現状、今後の活動計画などが余す所なく伝えられたと思う。

執行役員の方々も大いになぜかいておられ、今後の同窓会活動に期待するところである。





# 支部だより



## 東海支部 総会



平成21年7月11日、東京工芸大学東海支部同窓会を昨年に続き、名古屋の東京第一ホテル錦において開催を致しました。

本来ならば、2年ごとに開催の予定でしたが、名古屋ナディアパークにおいて、東京工芸大学がフェア開催をするため、大学側の要請によりこの機会に支部と大学側との交流を深めるべく同日に総会を開きました。初めて大学側から内藤明芸術学部長、吉野准教授、同窓会から奥田副会長の出席をいただいて、大学の実情を報告いただき、東海支部としては大学の発展に寄与し、協力したく考えております。

次期の同窓会には、ぜひ若い卒業生も出席していただきたくよろしくお願い申し上げます。

東海支部長 36期 磯谷 武美 記



## 石川県支部 総会

平成21年8月12日に東京工芸大学同窓会石川県支部総会が、金沢エクセルホテル東急にて開催されました。

会の冒頭、総務の田中泰氏（工1期）に、印刷業界の実情や今後の展望、また新しい分野での可能性などを約20分間にわたりお話しして頂きました。その後、近岡支部長（短36期）のご挨拶で、本部同窓会の報告ならびに今後の支部同窓会運営についてのお話などがあり、引きつぎ乾杯のご発声で、出席者9名という少ない人数ながらも楽しいひと時を過ごし、大変盛会となりました。

石川県支部 記



東京工芸大学同窓会石川支部総会 平成21年8月12日 於 金沢エクセル東急



## 香川県支部 総会



前列左側から：荒木房雄、川名晴美理事長、  
奥谷収吉支部長、花川正英専務理事  
後列左側から：伊藤 健、西尾(福家)嘉孝、  
渡辺幸雄、山本 彰

平成21年11月11日（水）、「リーガホテルゼスト高松/桃花苑」にて、香川県支部同窓会がスタートしました。

同県の会員リストでは36名を数えておりましたが、他所への転出の方が意外と多く、結果的に22名の方への案内となりました。丁度秋のシーズンの真っ最中のため出足が懸念されましたが、お陰様で『荒木房雄（27期）、渡辺幸雄（31期）、福家嘉孝（42期）、山本彰（44期）、奥谷収吉（46期）、伊藤健（57期）』の6氏の参加があり、先ずは無事に船出となりました。

初の総会は、荒木大先輩による司会の下、奥谷支部長が発足に当たっての経緯を述べた後、同窓会のHPから録った校歌を披露するなど、熱き思いを込めた挨拶がありました。

本部側からは、川名理事長と花川専務理事が駆けつけ、祝辞を述べるとともに、工芸大の現状や各地の同窓会の状況についての説明がありました。

その後は、酒を酌み交わしつつ、楽しい思い出話や四方山話で盛り上がり、あっという間の2時間でした。

そして、継続は力なりの喩えの如く、次回の集いを約して散会となりました。

事務局 花川 記



## 32期卒工業科 同窓会



ガンマ32同窓会 平成21年7月5日 新宿Lタワー内、北の海道にて16名参加

32期卒工業科の同窓会を毎年行っていますが、今年は私（出沢）が幹事長を受けて、新宿で同窓会を行いました。毎年名簿を作成していますので、今年も作成して配布しました。宜しくお願いいたします。

写真は、今年7月5日に行った同窓会の写真です。

32期工業科 出沢 勇作 記



## 写大39・40期“土屋下宿の会”

みちのく山形の旅を行う



45年前写大より徒歩10分のところに写大生専門の土屋下宿なるものがあり、そこに約20名が下宿していました。この度7月1日、2日、その中の仲間8名で45年ぶりに守谷（39期）の地元の山形の旅を行いました。

参加者は武智（静岡・39期）、倉橋（大阪・40期）、永瀬（岡山・39期）、北村（京都・40期）、鈴木（静岡・39期）、山本（大阪・39期）、安岡（京都・39期）以上の面々ですが、再会するやいなや45年前にタイムスリップ。歳を忘れ、最上川舟下り、羽黒山神社、土門拳記念館、さくらんぼ狩りと山形の夏を満喫、若き日の写大時代を語りあかしました。実に楽しく来年もという事になり、次回は京都で行う事になりました。

幹事は 安岡賢治君（39期） 0774（62）1376

期日は 平成22年7月1日、2日です。他の皆さんも、ぜひ参加して下さい。

文・写真 39期 守谷 真一



## 写真大学46期 同期会

木村先生の講師時代にご指導頂いた出席者一同

当日、木村先生だけが、先生として御立派になられ、私達は、当時に戻ってしまい、駄々っ子大人でした。

《木村先生を囲む会》は、住友三角ビル最上階のレストランにて、写大方向を眺め、「今、写大から、花火をあげるから…」「今、タイマツに火を点けに行ったから」と、冗談を言いながら、三時間、追い出されるまで盛り上げました。

花束贈呈と、商品券にて長年のご苦勞をねぎらい、話に夢中になり、記念写真を取り忘れたことに気づき、新宿駅西口交番前にて、若いお巡りさんを交番から引っ張り出して、撮影を完了しました。（イケメンでした）

木村先生も、皆も、西口交番のお巡りさん撮影に、いたく感動…。「昔は、…だったなあ」と、広場で歌って追い返された思い出にひたっている人もいました。

後で、先生より全員に御礼状を頂きました。ありがとうございました。木村先生が、我々より若く見えることには、ジェラシ〜（古い）です。

木村先生、お疲れさまでした。

46期 新井 俊江 記



木村先生を囲む会・写真大学46期同期会  
平成21年2月21日 於 新宿西口通路



# 50期 同期会

去る8月1日(土)に、卒業以来34年振りとなる初の同期会(写真技術科・写真応用科)を、懐かしき学食(だいぶ変わっていましたが)で開催しました。

中野坂上の変貌を危惧して、懐かしい学校へたどり着けるかとの不安の声も有りましたが、北は北海道・南は九州から参加した数は40名、無事に全員到着しました。ご多忙の中、お世話になった先生方も6名ご出席頂きました。

現在でも働き盛りの者、昨今話題となっているメタボ盛りの者、子育て真っ最中の者、中には孫の世話盛りの面々が、一時夢を熱く語り合ったあの時代にタイムスリップし楽しく大いに盛り上がり、時の経つのも忘れた数時間でした。

次回開催で、また会うことを誓い合いお開きとなりました。

写真技術科3研 鈴木 直人 記



技術科1年A組



技術科1年B組



技術科1年C組



技術科2年1研



技術科2年2研



技術科2年3研



技術科2年4研



技術科2年5研



技術科2年6研



応用科



# 池田陽子先生の 長年のご功績をお祝いして

去る8月29日、中野サンプラザ クレセントルームにおきまして、「池田陽子先生の退職を祝う会」が催されました。

先生は45年間の教員生活の中で短大時代の人物写真研究室から、最後のドキュメンタリーフォト研究室まで、どの時代も熱心に指導され学科主任をお勤めになるなど、母校のためにご尽力くださいました。文楽や日本の伝統芸能に対峙した写真での先生の役割は特に素晴らしく、23回以上の作品展を開催され、8冊の作品集を出版しています。退職後6月16日付けで名誉教授になりました。

その先生を讃える会には、巣立って行った卒業生と、ごく親しいご友人に限って声を掛け、1枚の記念写真に収まらないほどの120名近い方が集まってくださいました。お忙しい中、北海道、九州、そして韓国ソウルからも、駆けつけてくれて世話人としても嬉しい限りでした。これも一偏に先生のご人望の厚さと義理堅いお人柄によるものだと思います。

お祝いのスピーチは、元講談社出版部長の池ノ内清さん、花束贈呈を卒業生の韓承卓さん（73期）、乾杯は武川久兵衛さん（46期）、締めは長岡での写真展を企画した小林正樹さん（39期）など、懐かしい方にお祝いしていただきました。

そして先生からはお礼として、ライフワークである文楽の吉田一輔さんによる三番叟の披露がありました。伝統芸能が演じられるという贅沢で貴重な計らいは、会を一段と盛り上げてくださいました。

「これからは、気楽に花を訪ねる旅をしたいわ」と先生は話されています。写真家として、お花を愛する人として、変わらず元気で過ごしてくださいましたことをお祈りしつつまた会えることを願って、名残惜しい中に会はお開きになりました。

世話人代表 南島絵里子（73期）  
撮影者 中村 年孝（78期）



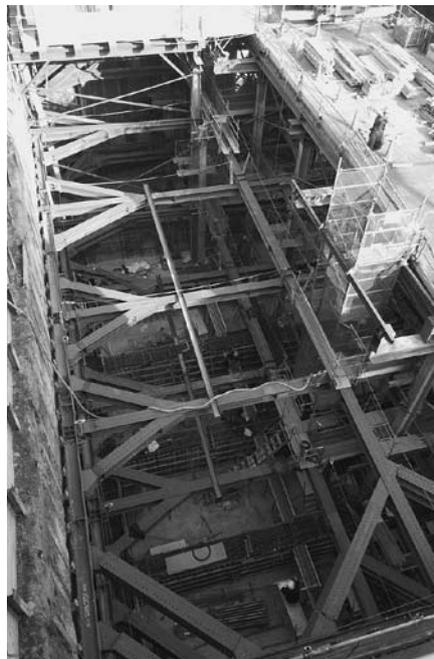
池田陽子先生の退職を祝う会 2009年8月29日(土)  
於 中野サンプラザクレセントルーム



## 中野キャンパス・リニューアル第Ⅰ期工事進行中！

今年4月から始まった中野キャンパスのリニューアル工事は、順調に進んでいます。10月初旬までには、地下3階（GLから-11.95m）まで掘削が行われ、11月中旬には地下2階の床工事まで進みました。この工事により本学においては初めての地下居住階が誕生することになります。写真は本館3階の教室から撮影しましたが、真下を見ると6階分の高さがあり、カメラを持つ手に思わず力が入ってしまいました。第Ⅰ期工事は、2010年7月までの予定ですが10月末現在では15%の進行率となっています。（2009年10月28日撮影）

写真・文 45期 福村 敏



# ひろはのページ

## 櫻井保秋（33期）回顧展



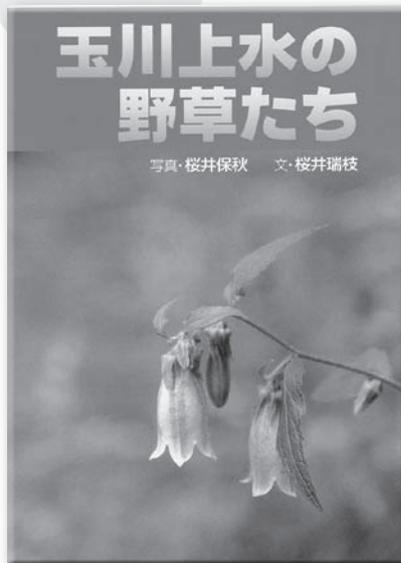
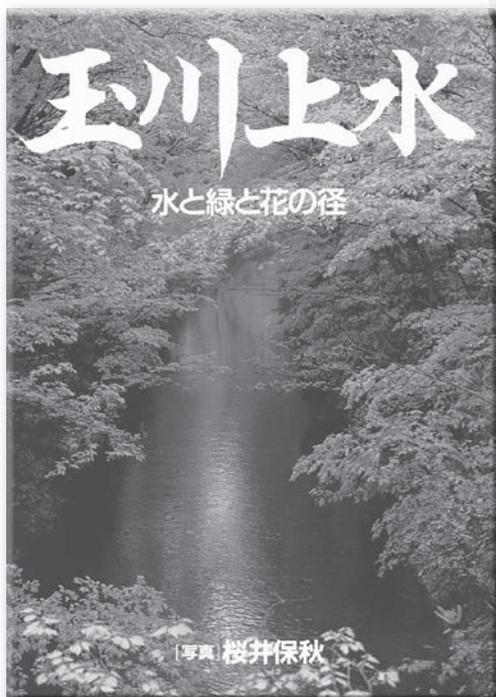
主催 東京都 羽村市ゆとろぎ協働市民の会展示部  
 会場 羽村市立 ゆとろぎギャラリー  
 8月26日（水）～9月6日（日）  
 午前10時～午後5時

内容 西多摩の写真家として惜しまれつつ、平成14年64歳で逝った櫻井保秋氏を称えた、回顧展を開催。12年間撮り続けた西多摩の祭りの神事と獅子舞い、玉川上水の四季の写真とあわせて、若き頃の小澤征爾のポートレート、TVでおなじみの「三匹の侍」のメンバー平幹二郎・加藤剛・長門勇等々作品を展示した。大盛況でギャラリー開設以来の入場者数1,862名を記録し、市側も驚き、早くも市民から次の開催の要望があった。

中村 正彌（34期）記



33期学友と奥さんの瑞枝様



安念余志子 写真展

心のスケッチ



銀座：'09年8月27日(木)～9月2日(水) 梅田：'09年10月22日(木)～10月28日(水) ●開催中時、休館日はお休みをご確認ください。

CANON GALLERY

安念余志子 (46期) 写真展

心のスケッチ

自然豊かな北陸の地。そこに生まれ育った一人の写真家として、主にこの地の四季を題材にし、心の風景をカメラという手段を用いて描きだしたい。そんな思いにかられ撮影してきて何年になるだろうか。それは古寺に通い古(いにしえ)の人々の声に耳を傾け、それを描こうとした事と同じ想いである。

ただ風景の雄大さや景色のきれいさを求めたら決してすばらしいとはいえないこの地。

冬はどんよりとした空に水分を含んだ重い雪。

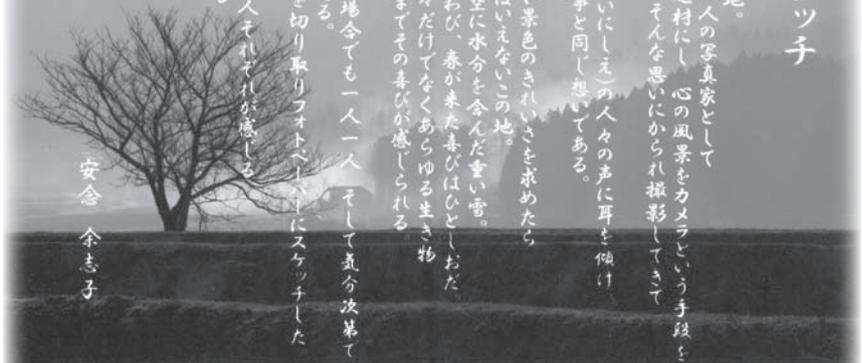
それゆえに春を待ちわび、春が来た喜びはひとしおだ。

それはそこに住む人々だけでなくあらゆる生き物、小さな草花にいたるまでその喜びが感じられる。

又同じ景色を見た場合でも一人一人、そして歳が次第とその光景は違って見える。

そんな心の中の風景を切り取りフォトヘットにスケッチした

「心のスケッチ」は見る人それぞれが感じる心のフォトボエムである。



安念 余志子



廣瀬 睦 (47期) 写真展

2010.1.5～1.15 10:00～19:00 (最終日18:00) 土曜・日曜・祝日休館  
コダック フォトサロン  
Phone:03-4455-3274 / <http://www.kodak.co.jp>



## 吉田 敬子 (50期)

のこぎり屋根に魅せられたのは、11年前。全国に残る、のこぎり屋根工場を調査、撮影しつづけています。発祥地であるイギリスへも行きました。

写真展の方は、群馬県桐生市で3回、群馬県庁で1回、開催しています。

### ●のご屋根日記①

#### それは、鋸屋根に魅せられた写真家、 吉田敬子との出会いからはじまった

出合いのきっかけは台東区谷中3丁目、文京区との区境に建つ5連の鋸屋根だった。驚くなかれ、東京のとど真ん中に、明治43年築の鋸屋根工場が現存する。いまは印刷会社、旭プロセス製版の事務所であるこの建物は、1954年(昭和29)の廃業まで「千代田リボン製織」という織物工場なのだった。

この鋸屋根工場が造られたころ、工場の前には藍染川が流れていた。藍染の反物を洗ったという川沿いには、染物屋が散見した。そして明治のころの日暮里・谷中辺りは、ネクタイ工場が集積する織物の町という顔もあった。

織物の産地は江戸時代初期から日本各地に広がった。本綿製品は綿花の栽培に適した太平洋岸や瀬戸内海の温暖な土地に、産糸製糸は、稲作に適さない山間や寒冷地に桑を植えて発達した。明治になり、殖産興業の目玉として設立された官営の富岡製糸場を皮切りに、日本の基幹産業を支える織物工場は日本中につくられていく。

私は谷中の鋸屋根を熱く語り、吉田敬子は全国に残る鋸屋根を熱く語った。彼女の撮影した鋸屋根工場は1000棟を超える。

木造、石造、鉄骨、煉瓦と変化に富む群馬県桐生の日本一の鋸屋根群。石川県小松の「川町」様式の鋸屋根。愛知県尾西の17連の鋸屋根。赤色に塗られた静岡県富士吉田の鋸屋根。潮風に立ち向かう知多半島の黒塗りの鋸屋根。3年前に採葉を停止したあとも大切に保存される高知県奈半利の鋸屋根。

現役もあれば、カフェやギャラリー、パン工場、倉庫などに活用されているものも、そして廃墟となり消えてしまいそうなものも。

ああー、彼女の写した鋸屋根を自分の目で見てみたい。そして、まだまだ知らない鋸屋根を、彼女のあとを追いながら探し歩きたい。

そうだ。旅に出よう。産糸の歴史を学びながら、鋸屋根工場の、北向き窓から降り注ぐやわらかな光の下で働いた人の話が聞けるうちに。私が訪ねるのを待っていてくれると信じて。

(ヤマサキ)

産糸を旅する

## 月刊のこぎり屋根 0号

「のこぎり屋根工場」。この言葉が気に入り、実物を見に桐生へ出かけた私は、感動でその場に立ちつくした。それは大地にゆったりとたたずみ、静かに産糸の歴史を背負って呼吸していた。 写真家 吉田敬子

鋸(のこぎり)屋根とは工場建築に用いられる屋根の形式で、ギザギザの鋸の歯の形をした三角屋根のこと。通常、北側のガラス面(採光面)から光を取り入れ、天候に問わず均一の明るさを得て糸を織る、という大きな利点があります。英語ではsaw-tooth roofといい、この屋根からなる工場をnorth-light shed(北光織工場)とかweavingshed(織布、織物工場)と呼んでいます。

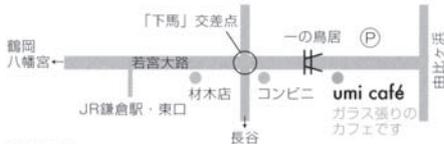


吉田 美穂子 (80期)

umicafe × horohoro

鎌倉・由比ヶ浜海岸にほど近いカフェの店内で吉田美穂子のイラストレーション展を行います。クリスマスカードの販売も行いますので紅葉散歩を楽しみながらどうぞお立ち寄り下さい。

★詳細はブログで更新中★  
<http://horohoro2009.blog68.fc2.com/>

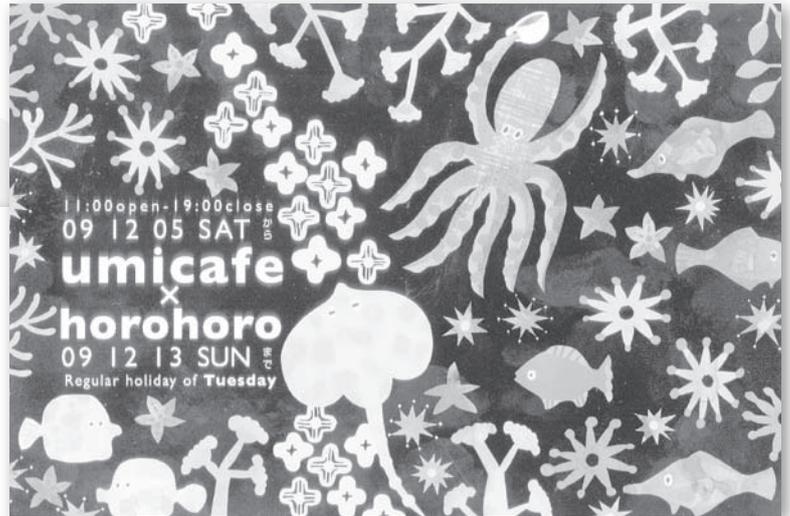


[アクセス]  
 JR鎌倉駅東口を出て若宮大路を右折。由比ヶ浜方向へ徒歩13分ほど進むと鳥居が見えてくるので、そこをくぐり右手すぐ。

umi café

神奈川県鎌倉市由比ヶ浜2-16-1若宮大路ビル105  
 0467-22-2287  
<http://www.umicafe.jp>  
 ・インターネット使用可 (無線LAN)  
 ・トイレに赤ちゃん用オムツ交換台設置  
 ・テラス席ベット可  
 ★12/8火曜日は定休日です。

吉田美穂子 yoshidamihoko  
 東京工芸大学デザイン学科卒業  
 新人絵本作家育成のためのワークショップ「あとさき塾」16期生  
 カラフルなイラストレーションの制作を中心に、ポストカードの販売や展示などを行っています。  
<http://www.mihokonet.com>



岩松 翔太 (82期)

ブルーミン

Gallery Q



東京都中央区銀座1-14-12 橋本第17ビル3F  
 03-3535-2524 www.galleryq.info contact@galleryq.info

Shouta Iwamatsu Exhibition

岩松翔太個展

2009年12月7日[月曜日]-12日[土曜日]

11時-19時[最終日17時]オープニングレセプション12月7日17時-  
 裏面:メグリメグル ミクストメディア 410×318mm 2009 www.sho-room.org

# 平成22年度東京工芸大学入学試験情報

## ■工学部 入試日程

入試種別		出願期間(必着)	試験日	合格発表日	
一般入試	I期	1/5(火)～1/23(土)	A日程 1/28(木)	2/2(火)	
			B日程 1/29(金)		
	II期		1/5(火)～2/5(金)	2/9(火)	2/15(月)
	III期		2/18(木)～3/9(火)	3/12(金)	3/16(火)
センター試験 利用入試	I期	1/5(火)～1/30(土)	本学による 個別学力試験なし	2/6(土)	
	II期	2/15(月)～2/23(火)		3/2(火)	
	III期	3/3(水)～3/9(火)		3/16(火)	
AO入試	III期	2/22(月)～3/8(月)	3/11(木)	3/16(火)	

## ■芸術学部 入試日程

入試種別		出願期間(必着)	試験日	合格発表日
一般入試	前期	1/7(木)～1/19(火)	1/24(日)	2/6(土)
	後期	2/8(月)～2/19(金)	2/26(金)～2/27(土)	3/5(金)
センター試験利用入試		2/22(月)～3/8(月)	本学による 個別学力試験なし	3/16(火)

## ■備考

選考方法や試験科目は、学部・学科により異なります。詳細につきましては「学生募集要項」をご覧ください。

## ■問い合わせ・募集要項請求先

東京工芸大学 入試センター入試広報課 [フリーダイヤル] 0120-12-5246  
〒243-0297 神奈川県厚木市飯山1583

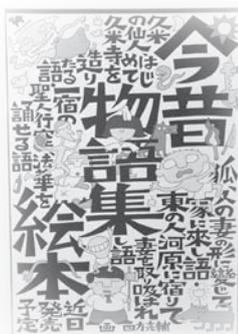
開催予告!

# 東京工芸大学芸術学部 卒業・大学院修了制作展 2010

開催日：平成22年2月19日(金)、20日(土)、21日(日)  
会場：六本木アカデミーヒルズ40

- 写真学科 ● 映像学科 ● デザイン学科
  - メディアアート表現学科 ● アニメーション学科
  - 大学院芸術学研究科
- (※今回は、全ての学科が本会場にて行われます。)

2009年の制作展より



## 広報委員会から各支部長殿へのお願い

広報委員会では、各支部長殿に年3回発行予定の同窓会報「ひろば」の紙面に、各支部の様子や企画、計画案、それに限らず他の件（ご当地や観光地の案内、祭り、知り合いの同窓生が受賞されたとか、ご当地で作品展をされたとか、支部のPRの記事等）を「支部だより」の紙面に掲載し、新会員方々に紹介や支部の所在と意識を持っていただくために、支部の方々に広報委員から原稿依頼をさせていただきます。ご多忙のところ誠に申し訳ございませんが、原稿依頼を受けた支部長殿には期限内に担当者宛に郵送（またはメール添付にて）して戴けるようお願いいたします。

なお編集会議では予定のスペースを空けて待機し、発行予定月度内に全国約17,000名の同窓生のお手元に届くよう努めております。是非ともご理解ご協力戴けるようお願い申し上げます。

広報委員長 中村正彌（34期）

原稿送付先：〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5

東京工芸大学同窓会 福村 敏（45期）

email：binfuku@dsn.t-kougei.ac.jp

## 訃 報（敬称略）

和田 周二（第11期・写真芸術科卒）	原田 照 幸（第27期・写真工業科卒）	猪 原 勲（第40期・写真技術科卒）
加藤 俊 孝（第11期・写真理学科卒）	伊藤 秀 太（第27期・写真技術科卒）	中島 康 俊（第40期・写真技術科卒）
外山 正 顕（第13期・写真理学科卒）	仁 禮 兼 義（第29期・写真技術科卒）	太田 和 彦（第40期・写真技術科卒）
中山 信（第16期・写真芸術科卒）	長谷川 繁 男（第30期・技術科卒）	前川 静 夫（第41期・写真技術科卒）
昼間 守 正（第16期・写真理学科卒）	大河内 基 夫（第31期・写真技術科卒）	吉田 忠 雄（第41期・写真技術科卒）
鈴木 功（第17期・写真理学科卒）	山田 康 正（第31期・写真技術科卒）	森 健 祐（第41期・写真技術科卒）
小林 謙 光（第19期・写真理学科卒）	阿 部 泰（第31期・写真工業科卒）	三好(足立)直代（第43期・写真技術科卒）
小泉 淳（第20期・写真芸術科卒）	川 嶋 和 馬（第33期・写真工業科卒）	佐 貫 秀 雄（第44期・写真技術科卒）
野村 修 三（第21期・写真化学工業科卒）	松浦(古屋)妙子（第34期・写真技術科卒）	轟(高津)節子（第45期・写真技術科卒）
三宅 毅（第23期・写真技術科卒）	坂 本 喜三郎（第34期・写真工業科卒）	佐橋(右納)孝子（第45期・写真応用科卒）
青山 弘 志（第23期・写真工業科卒）	川 口 勝 弘（第35期・写真工業科卒）	千 葉 正（第46期・写真技術科卒）
小玉 博（第23期・写真工業科卒）	稲 井 貞 夫（第35期・写真工業科卒）	影山(桑田)光明（第51期・写真応用科卒）
篠(横田)正教（第23期・写真工業科卒）	荻 谷 智 彦（第35期・写真工業科卒）	荒 木 薫（第56期・画像技術科卒）
山中 君 三（第24期・写真技術科卒）	古 沢 總一郎（第35期・写真工業科卒）	松 井 隆 義（第63期・写真応用科卒）
茂木 行 雄（第24期・写真工業科卒）	加 藤 忠 男（第37期・写真技術科卒）	佐 藤 康 夫（第76期・映像学科卒）
滝口 岩 夫（第26期・写真技術科卒）	伊佐(太田)淳子（第38期・写真技術科卒）	

## 編 集 後 記

早いものであと1ヶ月あまりで平成21年も終わろうとしています。今年の大きな日本の政治変革は自民党から政権を勝ち取った民主党の本当の仕事を試される試練の場であると思います。

9月5日（土）～6日（日）に開催された全国支部長会（大阪）に出席して、皆さんの心強い決意を伺い大いに期待を致します。各支部長の皆様には遠路ご苦労様でした。また関西支部の役員の皆様にはあたたかくお迎えいただき2日間大変お世話になりありがとうございました。

広報委員長 中村正彌（34期）